

牧草の大量要素欠乏症

(IV) 牧草の磷酸欠乏

石塚喜明* 原田 勇** 林 満***



Red Clover (赤クローバー)

磷酸は初期生育にいちじるしく影響を与える要素であり、草地造成時の磷酸施与の多少が、草地の収量を左右する因子となるから、造成時に出来るだけ多くの磷酸肥料を与えなければならない。磷酸欠乏土壤、もしくは磷酸施与を欠いた草地造成の場合、初期生育悪く、刈取後の再生も悪く、高収量は期待出来ない、磷酸欠乏症の特徴は個体全体が小型となり、葉は暗緑色となり、茎は葉より強い暗緑色を呈し紫色となってくる。分枝は衰え、葉は上向きとなる。草地全体は一見して硬直した感じを与え、完全区に比して出蕾、開花がいちじるしく早くなることがとくに特徴である。写真左側磷酸欠乏、右側完全区。

*北海道大学農学部 土壤肥科学教室 教授

**酪農大学助教授

***北海道農業試験場 畜産部草地土壤研究室 技官

大量要素と記号

- 1 加里 K
- 2 苦土 Mg
- 3 石灰 Ca
- 4 磷酸 P
- 5 硫黄 S
- 6 窒素 N

Alfalfa (ルーサン)

葉には特徴的な症状は見られないが、新生葉は欠乏状態が進むにつれて小型となり、茎は次第に下部より上部に向かって紫色を呈してくる。この症状が進むにつれて、葉は艶のない緑色となり、後灰緑色を呈してくる。個体全体はRed Clover同様硬直した感じとなり、葉は上向きとなる。磷酸に欠乏したAlfalfaは再生悪く、冬枯れ、夏枯れの原因ともなり、とくに越年後の萌芽が悪く、持続年限が短かくなる。

栽培に当っては播種時に充分な磷酸質肥料を与え、初期生育を良好にすることが高収量をあげるうえに重要である。

写真左側より加里欠乏、磷酸欠乏、完全区。

